

■開催日時：H30／3／28（水）13：30～14：50

■開催場所：デイサービスセンターさくら 会議室

■出席者：

- ・デイサービスセンターさくら 利用者：A様
- ・デイサービスセンターさくら第二 利用者：B様
- ・デイサービスセンターさくら ご家族：C様
- ・デイサービスセンターさくら第二 ご家族：D様
- ・地域住民の代表者 民生委員：E様（急用で欠席）
- ・市職員 介護高齢福祉課主任：F様
- ・当該事業に知見を有する者 地域密着型サービス事業所施設長：G様（急用で欠席）
- ・司会進行 デイサービスセンターさくら 管理者H
- ・記録 デイサービスセンターさくら／さくら第二 生活相談員I

■議事内容

1、出席者の紹介

2、運営推進会議の概要説明

3、事業所運営方針の説明

4、事業所の特色

- ・一日の過ごし方
- ・活動の中心の「脳機能訓練」の紹介
- ・脳機能訓練の出前講座の紹介
- ・ケアナイトさくら（介護保険外サービス）の紹介

5、運営状況の報告

- ・職員体制
- ・住所別利用様分布
- ・利用者様の年齢、介護度分布
- ・月別、曜日別の利用実績
- ・曜日別早入り、延長利用の利用者様数
- ・月別泊り人数、延べ日数
- ・行事、その他活動状況
- ・職員研修の取り組み状況

6、事故・ヒヤリハット・苦情の報告

- ・容態悪化で救急搬送の事態、2例報告。

1、迎え時から体調が悪そうだったが、自宅ではバイタル値を測定するすべが無く、デイに来ていただいてからバイタル値測定、低体温（32度台）／spo2:84%で救急要請。家族様が送り出しをして下さるなら、その場でバイタル値を測定し異常があれば「利用中止、後は家族様に任せて」という事は出来るが、家族様のいらっしゃる場合は、状態の悪いご本人をどうするかが悩みどころ。

2、入浴後40分経った後に意識喪失。救急要請。

救急車が到着する前に意識は回復したが、そのまま救急搬送。

原因は脱水症状。利用中の水分補給は、来所時や入浴前後等、小まめに行っているがそれでも追いつかないくらいの水分不足。自宅では普段からあまり水分は取っていないとの事。入浴中や、入浴後の状態の変化には特に気を付けているが、浴後40分経ってからの状態の変化も有るので、見守り、観察は気が抜けないと、気持ちを新たにしたいところです。

7、意見・要望・助言等

○、喜んで利用しています。大事にしてもらっています。(利用者：A様)

Q、地震とか災害の時の訓練はどうされていますか。ここは土砂崩れや水害は無いと思うが地震とか火災の時は・・・。(ご家族：C様)

A、年一回防災避難訓練は実施。訓練と言うのは大体天気の良い日を選んで行っているが、他に机上訓練で「地震」、「雨の日」、「暗くなった時」、「入浴中」などを想定して必要な物を揃えたりしています。地震に関しては消防の指導で「ここは平屋なので、二階部分に押しつぶされることは無い。直ぐに外に出るのではなく、中に居て、揺れが落ち着いてから周りの状況を確認し、それから行動を起こす様に。」と指導されています。(デイ)

○、(初めての参加)細かい所まで説明してもらって分かりました。(ご家族：D様)

Q、稼働率が低い、休む人が多いのか？経営的に大丈夫か？(利用者：B様)

A、定員数が少ないので利用者様お一人の割合は高くなります。

毎曜日、定員一杯の利用者様は居られてもショートステイの利用が重なり、人数の少ない日も有ります。気候がよくなったので風邪で休まれる方は少なくなりました。

デイ第一側の稼働率は土日の日数も分母に入れている。(本来は土日も稼働日だが第一側だけは今休業中)土日の日数を除けばもう20%は高い数字になります。(デイ)

○、稼働率も80%と安定している。早や入りや延長等、きめの細かい対応をされている。

このまま続けていってもらいたい。(地域密着型サービス事業所施設長：G様)

Q、こういう報告の他に、他では行っている事でお勧めはありますか。(デイ)

A、レク等の活動内容の写真や利用者様の感想などを乗せても良いかもしれない。

(介護高齢福祉課：F様)

○、機能訓練を重視して行く傾向になってきている。加算の種類も増えたので加算が取れる所は取って欲しい。(生活機能向上連携加算の事)ここは機能訓練指導員が4名もいるので機能訓練加算で対応できていると思われる。(介護高齢福祉課：F様)

○、確かに機能訓練は重視されているが、骨折した方の退院直後の訓練と、高齢の安定されておられる方の訓練は違ってくる。運動、運動と強制することが本当に良いのか、高齢で疲れやすい方に強制することが虐待になるのではないかとも思っている。そういう方には日常生活動作が継続して行える程度の訓練なり、体を解す程度の体の動かし方で良いのではないかとも思っている。そういう関わり方をしている事は理解して頂きたい。(デイ)

A、満足度調査はどこも出来ていない。定期的(年一回程度)にアンケートを取って評価し、それを反映させてゆく事も大事。(介護高齢福祉課：F様)

○、アンケートの利用に関しては進めて行きたい。皆様にはお願いですが、アンケートというところ「こんなことを書いても良いだろうか」「悪く思われまいだろうか」「書いた方の不利益にならないだろうか」と気にされる方が多いですが、良くして行く為に是非遠慮のない意見をご記入頂くようお願いいたします。(デイ)

- Q、三重県は、書類の提出期限や手続きの仕方を時期毎にメールで知らせが来ていた。
当方の事業所は三重県の指定から、全て伊賀市の指定に変更になった。伊賀市から同じ様な連絡メールが来ないと、半年に一回とか、制度変更時の手続きとか漏れてしまう可能性が有る。伊賀市も同じような対応をしてもらえないでしょうか。(デイ)
- A、処遇改善加算の届に関しては様子を見るために、特にメールでの連絡は行わなかった。
ホームページに載せて有って変更がないから良いだろうと思っていたが、これは評判が悪かった。検討します。(介護高齢福祉課：F様)

次回開催時の議題（テーマ）の検討

議題は一任される。